

第5次新座市総合計画前期基本計画 施策評価シート（対象：令和6年度実績）

施策 No.35 商工業の充実										基本計画 掲載頁	110～112
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	I：現状のまま 継続	施策展開の評価数	A	0	B	4	C	1	
				(参考)事務事業評価の実施状況	A	0	B	4	C	0	
成果	商工会に対する各種補助を実施するとともに、商店会に催しや設備整備に係る経費を補助するなどして、商工会・商店会活動を後押しした。 また、国の臨時交付金を活用したキャッシュレス決済ポイント還元事業により、地域経済の活性化を図った。			成果・課題を 踏まえた今後 の対応方針	引き続き、商工会や商店会への補助を通じて、商工業の充実を図る。 また、空き店舗の活用や産業誘致について、埼玉県等の関係機関と連携しながら検討を進める。						
課題	昨今のエネルギー価格の高騰や物価高騰は、地域の事業者に影響を及ぼしているため、補助金等を活用し、事業者への支援を行っていく必要がある。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 商工業振興の充実	評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1 商店街の活性化を図るため、市内商店会との連携を図り、各商店会が行う各種事業を支援します。	B	・各商店会が所有する設備の維持費やイベント経費に対し補助金を交付することにより、商店街の活性化を促した。	産業振興課
2 所有者及び関係機関と連携しながら、空き店舗の有効活用の方策について検討します。	B	・マルシェやイベント、会議のスペース等に活用されている栄四丁目商店会運営の街仲マルシェたまりばのシャッターを活用し、地域の小学生・高校生によるシャッターアートを実施することで商店会の活性化につながった。	産業振興課
3 販路開拓や生産性向上に資する経営相談や各種支援の充実を図ります。	B	・「にいがたビジネスサポート」経営相談を通じて中小企業診断士による市内事業者への販路拡大、生産性向上などに係る事業提案のほか、販路開拓等に資する市独自の補助金の利用促進に努め、市内事業者支援を図った。	産業振興課
4 市内の特色ある商工業者の魅力を市内外に発信するため、商工会等の関係機関と連携を図り、イベント等を通じてPRを図ります。	B	・商工会が開催する市内商工業のPRを行うイベントや商工会の事業に対し補助金を交付するとともに、商工祭などの一部事業の実施に協力した。	産業振興課
5 土地区画整理事業等に合わせて、産業利用に適した用地の創出や、多様な産業の誘致について検討します。	C	・適宜埼玉県及び庁内関係課と情報共有したが、現在誘致可能な用地の創出が難しいため、具体的な検討には至っていない。引き続き埼玉県等関係機関と情報共有し、検討する。	産業振興課

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

[illegible]